

さくらほっと NEWS

vol.55 令和3年第1号

名古屋市立大学病院 さくらほっとNEWS

vol.55 令和3年第1号

発行：名古屋市立大学病院 発行責任者：院外広報課編集会議（年4回発行）
〒467-8602 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川邊1 TEL 052-858-7113（経営課）

3病院合同地域連携WEB講演会を開催いたしました



名古屋市立大学
理事長 郡 健二郎

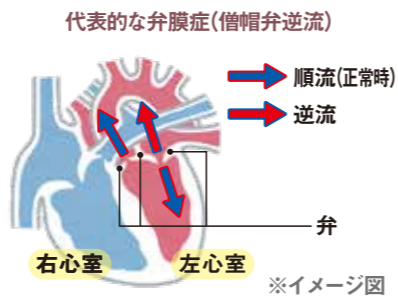
令和3年2月20日に、東部・西部医療センター大学病院化記念事業として、「3病院合同地域連携WEB講演会」を開催いたしました。この講演会は、令和3年4月1日より名古屋市立東部・西部医療センターが名古屋市立大学医学部附属病院化することや、3病院が地域で果たす役割とその専門性や将来像などを紹介することを目的に行いました。

当日は、郡健二郎名古屋市立大学理事長の「名市大の3病院は一体となって地域に支えられ、地域医療に尽くします」と題した特別講演から始まり、病院長による病院紹介と、各病院2名の医師が診療科のトピックス等を講演しました。当日は、287名の地域医療機関の方などにご視聴いただき、後日アーカイブ配信も行いました。

今回のWEB講演会を皮切りに、3病院一丸となり、これまで以上に地域医療へ貢献してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

心臓弁膜症センターを開設しました

心臓には4つの弁があり、血液の逆流を防いでいます。しかし、弁が狭くなったり、逆流が生じたりして、息切れや胸痛などを生じるようになるのが弁膜症です。弁膜症が重症になるとお薬で治すことはできません。手術が必要となります。しかし、弁膜症の重症度診断や手術時期の判断は、専門医でも容易でないことが少なくありません。一方、弁膜症の手術は低侵襲化し、これまで手術が困難であった患者さんにカテーテルでの治療が可能になるなど、治療法も進歩しています。そこで、内科、外科、麻酔科がチームとなって弁膜症センターを開設し、診断から手術適応の判断、手術へとスムーズな対応を行えるようになりました。



病棟・中央診療棟 地下1階に新店舗がオープンしました

病棟・中央診療棟地下1階区画(ローソン左隣)に『Tsubaki ONIGIRI STAND』が3月にオープンしました。おにぎり、スープ、ドリンクを中心とした店舗となっており、素材にこだわった手作り商品が並びます。ぜひお試しください。

メニュー(一部)

- おにぎり** 南高梅、ツナマヨ、とり五日、おかがクリームチーズ等
- その他** 豚汁、本日のスープ、フレッシュバナナスムージー等
- ランチセット** おにぎり2ヶ + 豚汁等(数量限定)



営業時間

平日 7:30~19:00
土 7:30~17:00
日祝 休

来院するみなさまへお願い

来院時のお願い

- 来院の際は、マスクの着用にご協力ください。
- 赤外線サーモグラフィーによる検温、入退館時の手指消毒もしくは流水による手洗いをお願いします。
- 平日は、7:45以降に正面玄関からお入りください。また、3日以内に発熱のある患者さんや濃厚接触者の方は玄関職員にその旨をお伝えください。

面会禁止のお知らせ

- 厚生労働省の指針に沿い、当面の間、面会を禁止させていただきます。以下の場合に限り、ご家族に限り1名までの入館を許可しています。入館される場合には、病棟・中央診療棟1階防災センターにて毎回入館受付を行ってください。また、病棟にご用の際は入口のインターホンでお知らせください。
 - ▶ 付添いが必要と医師が判断した場合
 - ▶ 医師や職員から来院依頼があった場合
 - ▶ 入退院時の付添いをする場合
 - ▶ 必要物品の受け渡しをする場合(入館は15分程度に限る・病棟内へ入ることは出来ません)



新病院執行部

後列左から、新実病院長補佐、瀧口病院長補佐、植木病院長補佐、戸澤病院長補佐
前列左から、村田副病院長、松川副病院長、飯田副病院長、間瀬病院長、森田院長代行・副病院長、明智副病院長、木村副病院長、林副病院長

新病院長からのご挨拶 ...2

3病院の理念・基本方針を策定しました
名市大病院のチカラ Vol.233

3病院合同地域連携WEB講演会を開催いたしました.....4
心臓弁膜症センターを開設しました
病棟・中央診療棟 地下1階に新店舗がオープンしました
来院するみなさまへお願い

地域の医療機関と名古屋市立大学病院との連携

—— 当院の外来診療は予約制です。 ——

かかりつけ医療機関からご予約いただきご受診ください。



新病院長からのご挨拶



新病院長
間瀬光人

このたび、令和3年4月1日より病院長を拝命いたしました間瀬光人です。診療科は脳神経外科で、救命救急センター長も併任しています。小椋祐一郎前病院長の後任として、皆様のご協力のものと、当院のさらなる発展のために一生懸命努力する所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。

さて昨年より続く新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが依然見えない中、市民の皆様には様々な制限や大きな不安の中におられると思います。当院では新型コロナウイルス感染症の治療に全力で対応しておりますが、通常診療(救急医療含む)も制限しない方針で努力しております。しかし院内では感染拡大防止のために必要な様々な制限を設けています。市民の皆様にはいろいろとご不便をおかけしていますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

4月より東部医療センターと西部医療センターが大学病院化されました。名古屋市内に名市大の3つの拠点ができただけです。3大学病院が一体となり、広範囲の地域医療をしっかりと行います。また、それぞれの病院が密接に連携することにより、どの病院を受診されても大学病院としての高度医療を受けることができます。なお3病院とも医療安全を最も重要と考えており、市民の皆様が安心して医療を受けられるよう、職員一丸となって取り組んでいます。

「コロナなんかには負けないぞ!」という気持ちとともに、名古屋市民のために我々の使命を果たしていきたいと強く決意しております。どうかよろしくお願い申し上げます。

東部・西部医療センターの名古屋市立大学医学部附属病院化に伴い 3病院の理念・基本方針を策定しました

東部・西部医療センターの医学部附属病院化にあたり、共通の上位理念である大学憲章のもと、各病院の特長や大学病院群としての統一感を持たせた3病院の理念・基本方針を策定しました。

大学憲章(大学病院)

安全で開かれた医療の提供

私たちは、名古屋都市圏の中核医療機関として、他の医療機関との協力・連携を推進し、安全で開かれた最高水準の医療を提供するとともに、医学の進歩と新たな医療の確立に邁進します。

質の高い医療人の育成

私たちは、日々進歩する医療に対応できる専門教育の充実を図り、常に高い倫理観を持ち、温かで信頼される「学び続ける医療人」を育成します。

理念・基本方針

	名古屋市立大学病院	名古屋市立大学医学部附属 東部医療センター	名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター
理念	地域の核医療機関として、高度かつ安全で開かれた医療を提供するとともに、高い専門性と倫理観を兼ね備えた医療人を育成します	安全かつ高度な医療を提供し、市民のいのちと健康を守るとともに優れた医療人を育成します	地域に根差した大学病院として高度かつ安心な医療を提供するとともに優れた医療人を育成します
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋都市圏の中核医療機関として、高度先進かつ先端医療を提供し、市民の健康と福祉を増進します 高度情報化のもとに開かれた医療を提供し、情報公開と医療安全に努めます 救急・災害医療センターを開設し、救急・災害医療機能を強化します 医学教育を充実し、高い倫理観を持ち信頼される医療人を育成します 優れた医学研究の推進を通じて、社会に貢献します 	<ul style="list-style-type: none"> 心臓血管・脳血管疾患などに対する高度・専門医療の充実にも努めます 救命救急センター・災害拠点病院としての機能を果たします 第二種感染症指定医療機関としての機能を果たします 地域の医療機関と連携し、地域医療の発展に貢献します 医学教育を充実し、優れた医療人を育成するとともに、医学の発展に寄与する研究及び情報発信を行います 	<ul style="list-style-type: none"> 公立大学病院の使命を自覚し、安心安全で質の高い医療を提供します がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センターとして、がん医療、小児・周産期医療の充実にも努めます 地域の医療機関と連携し、地域医療の発展に貢献します 充実した医学教育のもと、人間味豊かな優れた医療人を育成します 医学研究を推進し、新しい医療の創出を進めます



名市大病院のチカラ Vol.23

薬 剤 部

薬剤師の力で、さらに良いがん治療を

病気の治療に欠かせない薬、その専門家が薬剤師です。主に注射での抗がん剤治療を行う外来化学療法室でも、薬剤師は積極的に活動しています。

その一つは、患者さんの抗がん剤を清潔かつ正確に作る(調製する)ことです。抗がん剤は、投与量のわずかなミスでも重大な副作用を招くことがあります。そのため、薬剤師は患者さんの治療内容や抗がん剤の量を慎重に確認し正確な調製を行います。さらに、抗がん剤は取り扱いを誤ると医療者自身にも健康被害を及ぼします(「職業曝露」と言います)。当院は、職業曝露リスクを減らし正確に調製された薬を患者さんに届けるため、最新の「抗がん剤自動調製ロボット」を導入するなど先駆的な取り組みも行っています。

一方、どんなに優れた薬でも副作用で治療が続けられなければ効果を得ることはできません。したがって、副作用の予防や対策は大変

重要です。外来化学療法室では、薬剤師がベッドサイドで患者さんと直接面談し副作用の早期発見に努めています。患者さんの状態を把握し副作用の原因を分析することで、最適な薬物療法を医師に提案します。

さらに、院外薬局とも治療情報を共有し薬局での充実したサポートを支援する取り組みも始めました。私達は、薬剤師の力で、さらに良いがん治療の実践を目指しています。



薬剤部 化学療法係のみなさん

腎 臓 内 科

みんなで力を合わせて腎臓を守る!

腎臓は、体のなかで血液をろ過し、老廃物などを尿として体の外に排出する役割を持つ大切な臓器のひとつです。腎臓内科では、腎臓の機能を守るために以下のような取り組みを行っています。

糖尿病性腎症教育入院

透析が必要になる原因で一番多いのは、糖尿病です。糖尿病による腎臓病の進行を防ぐために、1週間ほど入院していただき、食事療法や薬剤の調整をしたり、合併症の検査を行います。

腎代替療法選択外来

腎臓が悪くなった場合に、どのような治療方法があるかを医師、看護師が時間をかけて説明します。移植、血液透析、腹膜透析の良い点、問題点やそれぞれの患者さんにどの治療方法が一番よいかを患者さんと一緒に選んでいきます。

糖尿病透析予防外来

糖尿病の患者さんの腎臓機能悪化を予防するために、看護師、管理栄養士と協働して、食事療法や生活習慣での注意点を説明します。

腫瘍腎臓内科外来

各科の先生と協力して、抗がん剤による腎臓機能悪化やもともと腎臓の病気をお持ちの患者さんの抗がん剤治療を行っていく外来です。

他にも、腎炎やネフローゼ(尿に蛋白がたくさん漏れる病気)に対して行う治療や腎生検(腎臓の組織を採取する検査)、透析をされている患者さんが当院の他の科で治療を受ける際のサポートなどを行っています。

患者さんの腎臓を守るため、スタッフみんなで力を合わせ、今後も尽力してまいります。



腎疾患治療に わるみなさん

さくらほっと NEWS vol.55

令和3年
第1号 増刊号

当院における新型コロナウイルス感染症対策に対し、多くの企業、団体及び個人の皆さまより心温まるご寄附をいただきました。

この場を借りまして、職員一同、心より感謝するとともに、お礼申し上げます。

ご寄附いただきました医療物資等につきましては、当院における診療等に大切に活用させていただきます。

今後もより一層の感染症対策に取り組み、安全・安心な医療の提供に努めてまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

病院長 間瀬 光人

ご寄附いただいたみなさま

1/5 株式会社アメーバホールディングス様
牛カツ弁当



1/28 フマキラー株式会社様
アルコール除菌スプレー・アルコール消毒液



2/1 株式会社比呂野様
-2/2 鰻丼



2/4 医療法人格医会
可世木婦人科ARTクリニック様
防護服・ガウン・N95マスク



2/5 横井定株式会社様
サージカルマスク・不織布マスク



2/8 なつめコーヒー様
ドリップコーヒー



2/9 株式会社日本ビジネスデーター
プロセッシングセンター様
医療用ポリエチレンガウン



